

視点1 授業改善の充実 取組①

子どもが考える場面を意図的につくりましょう



今回の全国・学力学習状況調査の結果において正答率の高かった学校では、日常の授業において、子どもが考えたい学習課題を工夫したり、子どもの思考を促す発問を工夫したりするなど、子どもが考える場面を意図的につくっています。

導入の場面で、子どもが考えたい学習課題を工夫して与えましょう

<工夫例>

- 日常生活と関連付けた学習課題を提示して、実感をもたせて学習をスタートする。
- 子どもの知的好奇心をくすぐる実験を行って、学習意欲を高める。 等

子どもの考えを広げたり深めたりする発問を工夫しましょう

ポイント1

考えの根拠を明確にさせましょう

子どもの発言や発想に対しての根拠を問うことで、何からこの考えが思いついたのか、どのようなことと結びついているかなど、子どもの考えを明らかにしていきます。

発問例 (子どもの考えを聞いて・・・) 「なぜ、そう考えたのですか？」



ポイント2

友だちの考えと自分の考えを比較して、自分の考えを広げたり深めたりしましょう

友だちの考えと自分の考えを比較させ、違いに気づいたり、疑問を解決したりするなど、子どもの考えを深めたり広げたりしていきます。

発問例 「Aくんの考えとあなたの考えの違いは何ですか？」



ポイント3

いくつかの考えをまとめて、自分なりの結論をもたせましょう

子どもたちのたくさんの考えを引き出すことにより、友だちの考えの良いところを取り入れながら自分の考えをまとめるなど、自分なりの結論をもたせていきます。

発問例 「みんなの意見(考え)をノートにまとめましょう。」



ポイント4

子どもの考えを積極的に認め、考える楽しさを味わわせましょう

「なるほど。」「いいね。」など子どもの発言やつぶやき、思いや考えに賛同したり、「いいところに気がついたね。」「すばらしい。」など答えだけでなく思考の過程を認めたりするなど、子どもに自信を持たせ、考える楽しさを味わわせましょう。

発問例 「自分の考えがしっかり発表できたね。」
「理由もはっきりしていて、わかりやすい発表だったね。」



意図的な発問で子どもの思考を深めている授業例

小学校5年生 算数 「比べ方を考えよう（平均）」

サッカーの試合の得点（1組）					
試合	1試合	2試合	3試合	4試合	5試合
得点	1点	5点	3点	0点	3点

たけしくんのサッカーチームが試合をしました。
その得点は表のとおりです。
1試合に平均何得点したことになりますか。

Aくんの 式： $(1+5+3+3) \div 4 = 3$
考え 答え 3点

Bさんの 式： $(1+5+3+0+3) \div 5 = 2.4$
考え 答え 2.4点

1試合の平均を求める学習において、2人（Aくん・Bさん）の考え方をもとにして、自分の考えを深めていく場面です。



子どもの考えをもとに授業を進めている例

教師：2人の考えから、気付いたことはありますか？

子ども：答えが3点と2.4点で違っています。

教師：そうだね。気付いた人？（は～い。）
なぜ、答えが違ってしまったのかな？

子ども：式が違っているからだよ。

教師：なるほど。式のどこが違うのかな？

子ども：0点をたしているところかな。
子ども：4で割ったり、5で割ったりしている。

教師：いいですね。もう少し詳しくすると？

子ども：Aくんは、0点をたさないで4で割っていて、
Bさんは、0点をたして5で割っています。

教師：なるほど。よく気付きましたね。
Aくんは、どのように考えたのかな？

子ども：得点が入ったのが4試合で得点の合計が12点
だからこの式になったと思います。

教師：Bさんの考えはどうだろう？

子ども：全部で5試合だから、5試合分の得点を全部たして、
試合数の5で割ったんだと思います。

教師：なるほど。2つの考えが出てきたけど、
何か気付いたことはありますか？

子ども：0点の試合を入れるか入れないかでわる数が4
になるからになるか違ってくるんだなあ。

子ども：得点は入っていないけど、試合はしたのだから
0点の試合も含めて考えなくちゃ。

教師：いいところに気がついたね。
この2人の考えを参考にして、自分の考えをまとめてみましょう。

教師が説明してしまう例



教師：2人の考えから、気付いたことはありますか？

子ども：答えが3点と2.4点で違っています。

教師：2人の式が違っているから答えが違っているんだよね。式のどこが違うのかな？

子ども：0点をたしているところかな。
子ども：4で割ったり、5で割ったりしている。

教師：Aくんは、いくつで割ってますか？

子ども：4です。

教師：得点が入った4試合の合計を出して4で割って
答えが3点になったんだね。
Bさんは、いくつで割ってるかな？

子ども：5です。

教師：5試合全部の得点の合計をして5で割って
答えが2.4点になったんだね。
2人の考え方の違いがわかったかな。
得点が0点の試合を入れて求めるか、
入れないで求めるかだね。
全部で何試合したのかな？

子ども：5試合です。

教師：5試合だよ。全部の試合の得点を合計するのだから、
0点の試合も含めて考えないとだよ。
だから、得点の合計は、
 $1+5+3+0+3=12$ 。
それを試合数の5で割って
 $12 \div 5 = 2.4$ 。
答えは2.4点だね。

子どもに、自分の考えを自分の言葉で語らせて、思考を深めさせましょう！

